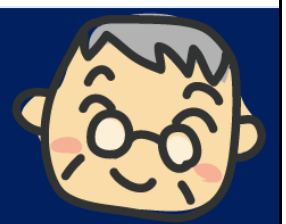
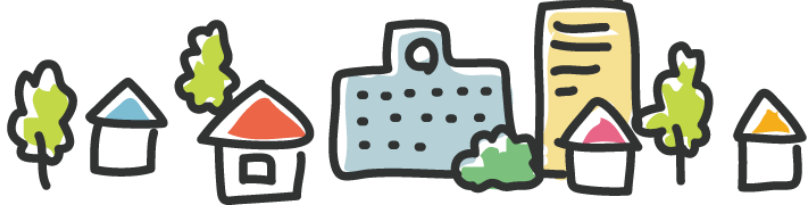
# １５分で学ぶ！
# 障がい者支援の基礎

## ～知的障がい者とは～





## 第三回
## 「意思決定支援とは」

1

Copyright (C) 2017 特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 意思決定支援とは

知的障がい等の意思決定に困難を抱える障がい者が、

日常生活や社会生活に関して

自らの意思が反映された生活を送れるように、

本人の意思の確認や意思及び選好の推定、

最後の手段としての最善の利益の検討

障がい福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン(案)を参考

2

Copyright (C) 2017 特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 本人の意思がわからない…

- 自己選択しない・いつも同じことしかしない
- 意思や気持ちが分かりにくい(糸口がつかめない)
- 言葉や仕草による発信はあるが、意味が分からない
- コミュニケーション出来できるが自分で判断しない
- 意思疎通ができない・ころころと行動が変わる
- コミュニケーションが出来ない、広がらない
- 勝手に行動する（自己管理出来ない）

**本人の発する様々なサインをくみ取る努力をせず「意思決定ができない」ことを理由に支援者が、「代行意思決定」をすることは「意思決定支援」の放棄につながる**

3

Copyright (C) 2017　特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 「意思決定と支援することのあいだ」

（意思決定できないという思い込み）

**自分では判断できない　決められない人**

「できないことゾーン」の見直し　意思決定できない人…

**意思決定できる**

どんなに障がいのある・なしに関わらず、たとえどんなに重い障がい者であっても、必ず「考え」(意思や意向)、「感情」(気持ち)があることが大前提

- 日常生活の中に埋め込まれている本人の「意思」のありどころに関心を寄せる
- 表情や感情、行動に関する記録などの情報に加え、これまでの生活史、人間関係等様々な情報を把握し、根拠を明確にしながら障がい者の意思のありどころを探る

4

Copyright (C) 2017　特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 「意思を決定する」のに必要な背景

① 意思のありどころとなる基盤的な体験や経験（決定や選択）

② 決定に必要な情報のアクセス・理解（統合）・保持・比較・活用の能力

③ 意思表出できる能力とスキル、育成環境

④ 意思決定できる複数の選択肢、日常・社会生活

⑤ 意思表出と意思決定を受止める環境関係性の支援、
双方向のコミュニケーション

5

Copyright (C) 2017 特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 「意思決定」を支える

① 本人の判断能力のアセスメント
② 意思表出　意思決定のためのコミュニケーション支援
③ 参加と活動（体験・経験の蓄積 、社会生活の充実）
④ 障がい特性に応じた情報提供・意思表出・自己選択等を保障する環境の整備
⑤ 意思表出・意思決定プロセスの中心に当事者をおく仕組み
⑥ 垂直関係でなく、課題解決の伴走型支援チームアプローチ
受容的環境

6

Copyright (C) 2017 特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 生活とは意思決定の連続

自らの生活を決定する権利

自らの意思を日常生活に活かす可能性を得ること

「自らの生活を決定する権利」 エライン･ヨハンソン

【日常生活】

食事　入浴　トイレ　就寝　買物　日中活動…

【本人意思決定のステージ】

- 本人が意思を決めることそのものを支援するステージ

【共同意思決定のステージ】

- 本人の意思からできるだけずれのないように（しかし、関わる人との関係性には影響されながら）類推して、共同で意思を決めていくステージ

7

Copyright (C) 2017　特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 丁寧な意思の確認

**①意思決定の原則**

本人の意思を確認し、意思決定に必要な情報提供や
自己選択のために複数の選択肢を用意する等の取り組み。

**②関係性の支援**

支援者と本人との意味交換、コミュニケーションの応答性が重要。
支援者と関係性の深まりが、本人の意思決定を決定づける。

**③本人の意思の尊重　パターナリズムに陥らない。**

支援者等の価値観では不合理と思われる決定でも、他者へ
の権利を侵害しない範囲で、その選択を尊重する。

**④過剰なリスク管理による意思決定の制限**

過剰なリスク感覚によって意思決定を制約的にしすぎない本人に
不利益になると考えられる場合でも、その意思を尊重しつつ、それに
対して生ずるリスクについて、対応策や回避策を工夫する努力を行う。

8

Copyright (C) 2017　特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.

# 丁寧な意思の確認（つづき）

**⑤複数の選択肢を考える**

**複数の選択肢からメリットとデメリットを可能な限り挙げ、比較検討して、本人の最善の利益を考える。**

**⑥相反する二者択一の選択肢の両立を考える**

**一見相反すると思われる選択肢であっても、その両立を考えてみる。**

**⑦自由の制限の最小化**

**生命などの安全面の配慮が必要な場合も、行動などの自由の制限は極力最小化する。**

9

Copyright (C) 2017　特定非営利活動法人NPO人材開発機構 All Rights Reserved.